

# 人と川が仲良く暮らすために

## ～相模川の河川維持管理～



～ 堤防点検の様子 ～  
台風などによる洪水に備え、堤防  
や樋門などの施設に異常がないか  
点検しています。

堤防点検の様子



# 相模川のある、豊かな暮らしを守る。

古くから生活用水に使われるなど  
人の日常とともに発展してきた相模川。  
そんな相模川を、みなさんが安心・安全に利用できるよう、  
京浜河川事務所では、災害対策をはじめとする  
河川の維持管理を行っています。  
相模川について深く知り、豊かな暮らしを守る。  
令和3年度に行った河川維持管理について  
ご紹介します。



## 相模川ってどんな川？

相模川は、富士五湖の一つでもある  
山中湖を水源としています。さら  
にその源は日本最高峰の富士山（標  
高3,776m）です。流域の河川数は実  
に100を超え、これら多くの支流を  
合わせながら、山梨県から  
神奈川県中央部を貫く  
ように流れ、相模湾に  
注いでいます。  
人々の生活に深く  
関わってきた  
神奈川県内最大  
の一級河川です。



※この河川管理レポートは、相模川の国管理区間  
に関する維持管理状況について紹介しています。



### 流域とは？

川を流れる水は、“流域”と呼ばれる  
山や平地など、広い範囲に降った雨  
が集まったものです。  
相模川の豊かな水は周辺都市の水  
道や電力源としてとても重要です。

### 【相模川のデータ】

- 流域面積：約1,680km<sup>2</sup>
- 幹川流路延長：約109km
- 流域内自治体数：14市4町6村
- 流域内人口：約136万人※
- ※平成22年度国勢調査に基づく算定値



## 相模川にある国管理施設

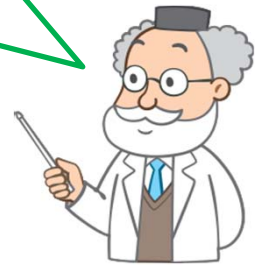
京浜河川事務所では、相模川にある堤防及び平塚漁港の周辺等に設置されている7ヶ所の陸閘※を管理しています。

その他、監視カメラや水位計等の観測機器も含めて異常が見られないか点検や確認をしています。

※**りこう**：普段は通行のため開放しているが、洪水時には閉めて堤防機能を発揮させるための鋼製ゲート



須賀周囲堤防第4ゲート  
(1989年完成)



### 知る・調べる

3頁へ

相模川に変わったことがないかをチェックして、安心・安全な環境づくりのための計画を立てています。

- 水文・水理等観測
- 測量
- 河川巡視
- 堤防点検 など



堤防点検

### つながる

6頁へ

自治体や地域の人々と協力して、災害情報の共有や相模川の自然を守る活動を広げています。

- 水防連絡会
- 相模川ふれあい懇談会
- 川の安全利用点検 など



相模川ふれあい巡視

### 守る

5頁へ

災害へ備えるとともに、誰もが気持ちよく利用できる環境を保全しています。

- 堤防・護岸補修
- 不法投棄対策
- 水防のための対策 など



不法投棄の状況

## 河川維持管理の仕事とは？

洪水や高潮による災害を防ぐため、気持ちの良い利用環境をつくるため、また豊かな自然環境を守るために「知る・調べる」「守る」「つながる」をモットーとして、相模川の安全と安心を支えています。

# 知る 調べる

相模川の流れや堤防に異常がないかを  
チェックして、安心・安全な環境づくりの  
ための計画を立てています。

## 水文・水理等観測

流域に降った雨量や、川の水位、水質などを観測して、洪水や渇水に備えるための対策検討に役立てています。



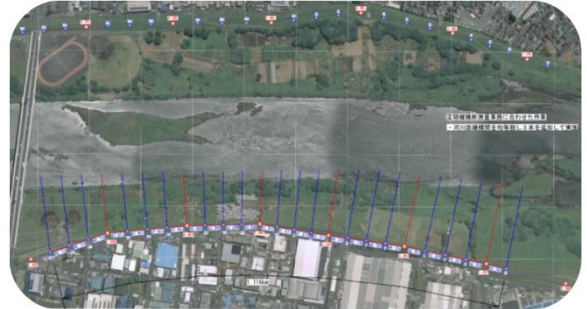
水質調査



水質調査

## 測量

堤防と川の形状について、おおむね5年に1回の頻度で広範囲に測量します。そのデータを基に、川がどのくらいの洪水を安全に流せるかを確認します。



相模川の航空写真

## 河川環境の調査

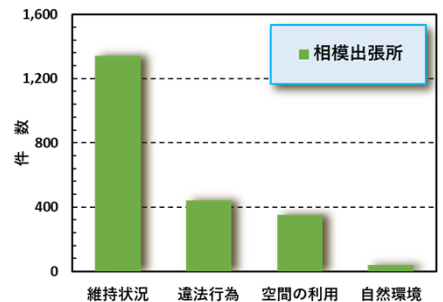
相模川の豊かな環境を守るために、動植物の生息状況や河川の利用実態などを定期的に調べています。令和3年度は、「両生類・爬虫類・哺乳類調査」を行いました。



■過去データは『河川環境データベース』で閲覧できます。  
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>

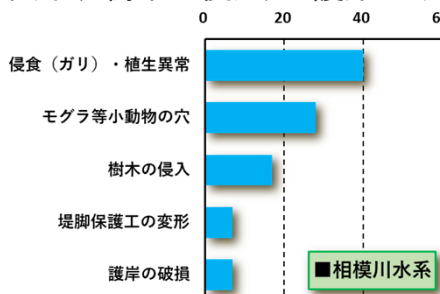
## 河川巡視(パトロール)

堤防の状態や安全な利用を確認するために日頃からパトロールしています。主に、違法行為の発見や堤防の状態、河川の利用状況などを確認しました。



## 堤防点検

堤防が壊れないように、毎年、堤防や護岸を歩いて異常がないか目視点検を行っています。令和3年度は、堤防法面の傷み(侵食・植生異常、樹木の侵入)や護岸の破損など111件の



の変状を確認し、必要な箇所について補修等の対応を行いました。

## 構造物・機械設備点検

平塚漁港の周辺に設置されている7つの陸閘(りくこう)について洪水や津波などの緊急時に問題なく動くよう、構造物や機械設備に異常がないか、定期的に目視と計測による点検や運転確認等を行っています。



千石河岸防潮第1ゲート



# 街や人への被害を未然に防ぎ、誰もが相模川 とともに安全・安心な生活を送れるよう パトロールや点検をしています。



## 堤防除草

堤防を維持するための点検が適切に行えるように、堤防の草刈りを行っています。広い堤防での作業は、ハンドガイドと呼ばれる大きな除草機械を作業員が操縦して除草を行います。



堤防の除草作業

## 安全利用点検

相模川の利用が増えるゴールデンウィーク前には、堤防や水際、階段などを中心に安全対策や注意喚起が必要などころがないか点検を行います。

令和3年度は、階段や看板等の破損・汚損を確認して、安全に利用できるよう修繕等の対応を行いました。



手すりの破損を確認

## 許可工作物の検査

沿川自治体等が管理している樋管等の施設（許可工作物）に故障や不具合がないか確認するための検査を行います。

対象施設の管理状況を確認し、必要に応じて補修等の対応を指示します。



履行検査の様子

## 電気・通信施設の点検

洪水や災害時などに相模川の様子をリアルタイムで観察できる監視カメラ（CCTV）や水門の遠隔操作施設などの電気・通信施設を定期的に点検・整備を行います。



監視カメラ（CCTV）



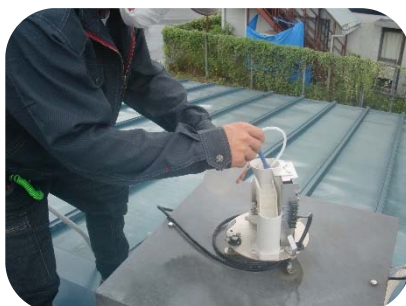
テレメータ設置

■川の様子が見られる『ライブカメラ』は裏表紙をご覧ください。

## 観測機器の点検

水文・水理観測を行うために相模川に設置している観測機器が、正しく動いているか、異常がないかを定期的に点検・整備を行います。

また、必要に応じて部品の交換や修繕を行います。



水文・水理観測機器の点検補修

## 洪水・地震時の対応

洪水時には、河川の水位の上昇や堤防などの施設に異常がないか確認するためにパトロールを行います。

また、震度5弱以上の地震が起こった後には、堤防等の施設に異常がないかを速やかに点検を行います。

令和3年度は、相模川流域内において、被害が出るような洪水や地震は発生しませんでした。



災害へ備えるとともに、誰もが気持ちよく利用できる環境を守っています。



## 堤防等の補修

規模の大きな洪水が発生した場合でも、堤防や護岸などの人と街を守る施設が壊されないように、巡視や点検で確認された異常箇所は早期に補修します。  
令和3年度は、堤防の法崩れなどを補修しました。



堤防の法崩れの補修前後

## 安全施設等の補修

相模川を訪れる人々の安全を確保するために、不具合のある施設を補修しました。  
令和3年度は、柵や階段、手すり、案内看板などで壊れていたり、汚れていた箇所の補修や安全対策を行いました。



木杭ロープ柵の補修前後

## ゴミの回収(巡視・維持工事)

河川巡視で多く確認されるのが「家庭ゴミ」、「粗大ゴミ」です。これらのゴミは上流から漂着するほか、不法投棄も多数あります。不法投棄されたゴミは投棄者が回収処分するのが原則です。しかしながら、投棄者を特定できない場合は、河川利用者が気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを回収処分しています。また、ゴミの多い場所を示したゴミマップを作成公開することで、河川での不法投棄が減少するよう啓蒙しています。



不法投棄されたゴミ



相模川ゴミマップ HP (河川ゴミマップ)

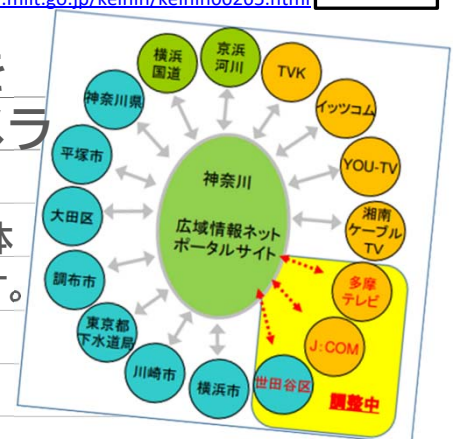
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00265.html>



## Topics

住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供

京浜河川事務所では、神奈川県広域情報ネットを利用して自治体との情報の共有化を図り、的確、迅速に防災活動を行っています。





つながる

地域の人々と協力して、  
災害情報の共有や相模川の  
自然を守る活動を広げています。



## 自治体などと協力して行っている取り組み



水防訓練の実施状況

### 地域と連携した水防活動への取り組み

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みの一つである「洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取り組み」として、地域の関係機関と連携した水防訓練（左の写真は、令和元年多摩川での開催状況）等を実施しています。



関東地方水質汚濁防止対策連絡協議会

### 関東地方水質汚濁防止対策連絡協議会 多摩川・鶴見川・相模川部会

関係機関とのつながりを深め、多摩川・鶴見川・相模川水系の水質汚濁事故の発生状況や防止対策の共有、連絡体制の確認などを行うために開催しています。



相模川流域協議会

### 相模川流域協議会

豊かで潤いのある相模川を次の世代につなぐため、流域の自治体が一体となって河川環境をより良くするための取り組みや河川管理に関わる意見交換などを行っています。  
また、流域住民に相模川の美しい環境づくりに関心を持ってもらうよう、様々なイベントを開催しています。

## 地域のみなさん参加型の取り組み

### 河川協力団体制度

自発的に河川の維持・河川環境の保全活動等を行っている団体を支援しています。相模川では令和3年度末時点で一つの団体（馬入水辺の楽校の会）が河川協力団体として指定されています。



水辺の楽校

### リバーシビックマネージャー（RCM）

河川管理をより充実させるため、平成12年度にリバーシビックマネージャー（川の市民管理者）制度を創設。公募により委嘱された住民の方々に、河川について気づいたことなどを会議で意見交換していただいています。

HP（リバーシビックマネージャー）

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01058.html>

### 相模川ふれあい懇談会

相模川をより良い河川にしていくため、市民（団体）、学識者、学校関係者、流域住民などが様々な意見を述べたり、河川管理者と議論して今後の川づくりを考える会を行っています。



相模川ふれあい懇談会

## 自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施

国土交通省では、災害発生時において迅速かつ確実に災害復旧を行うため、排水ポンプ車などの災害対策用の機械を配備しており、令和元年東日本台風の際は、全国の排水ポンプ車が出動しました。

関係機関が連帯した水害に対する事前準備の取り組みの一環で、地方公共団体職員を対象とした排水ポンプ車の講習・訓練を行っています。



## 川の情報を知ろう！

京浜河川事務所では、川の水位や想定浸水域、河川の現況画像など、防災にも役立つ様々な情報をホームページで配信しています。

### マルチコール・ケイヒンモバイルによる情報周知

洪水時の避難などに役立ててもらえるよう、雨量や川の水位情報などを外出先からも確認できるサービスを行っています。

HP (防災情報)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00247.html>



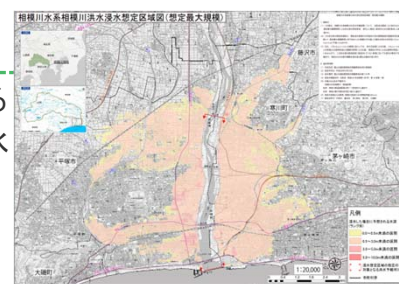
水位観測局地点地図

### 洪水浸水想定区域図

洪水が起き、万一堤防が決壊してしまった時に、どの場所が水に浸かる恐れがあるかの情報を提供しています。なお、浸水想定区域図に避難場所等を書き加えた洪水ハザードマップは各市区で作成しています。

HP (洪水浸水想定区域図)

[https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index070.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)



相模川洪水浸水想定区域図

### ライブカメラ

京浜河川事務所の管理区間は、河川監視カメラが設置してあり、いつでも河川の状況を確認することができます。現在、相模川では 20箇所をライブカメラで見ることができます。

HP (ライブカメラ)

[http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index034.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index034.html)



ライブカメラ映像

### 京浜河川事務所ホームページ (河川の管理)

京浜河川事務所のホームページでは、本『河川管理レポート』の他にも河川の維持管理に関する様々な情報を発信しています。

また、国土交通省からも様々なリアルタイム情報が配信されています。

HP (河川の管理)

[https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index007.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index007.html)



#### 【京浜河川事務所】管理課

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1  
TEL.045-503-4013  
FAX.045-503-4023

#### 【相模出張所】

〒254-0026 神奈川県平塚市中堂246-2  
TEL.0463-21-3713  
FAX.0463-22-9154  
担当区間：相模川河口～神川橋